

サテライトオフィス 開設準備について

FASF 事務局次長 **にし の ゆうじ**
西野 勇治



の跡地に建設中の大手町フィナンシャルシティ・サウスタワー5階に開設されることになっており、建設工事は戸田建設の施工で順調に進んでいる。5月初めの段階ではその地下4階地上35階建ての偉容が隣接するTwinビルのノースタワーと共に外観的にはほぼ完成の姿となっており、9月末の竣工が待たれる状況となっている。

大手町フィナンシャルシティは連鎖型都市開発事業で大手町をグローバルビジネスの戦略拠点として再構築するプロジェクトで誕生するもので、事務所、店舗、医療機関、金融教育・交流センター、インフォメーションセンター、カンファレンス会場等を主要用途とするTwinの複合ビルを中心とする街区の名称である。国際的な高品質で単一の会計基準の開発、適用を目指すIFRS財団として初めての海外拠点としてはその活動の内容に合致した象徴的な場所といえる。

9月末の建物竣工に合わせ、サテライトオフィスへの入居、活動の開始は10月初旬～中旬となる予定で、現在その準備が着々と進んでいる。

具体的には、昨年4月には、2012年10月から10年間の賃貸借予約契約が締結され、その後、内装工事契約も結ばれ、約260平米の広さを持つ事務所の概要も固まっている。本年に入

1. はじめに

国際財務報告基準財団（IFRS財団）サテライトオフィス（東京）は、国際会計基準審議会（IASB）のアジア・オセアニア地区における活動の拠点としてIFRS財団が設置する最初の海外オフィスであり、2011年2月に開催されたIFRS財団トラスティー会議で正式に決定された（本誌第33号参照）。現在、本年秋のオフィス開設に向け準備が進められている。

2. ハード面の準備（事務所）

サテライトオフィスは、東京都千代田区大手町1丁目の旧経団連会館、日経ビル、JAビル

り、サテライトオフィス設置、運営に関する財務会計基準機構（FASB）の協力に関する覚書が締結され、本件に関する FASB の協力体制も確定した。さらに、オフィス什器/IT 機器等の購入の準備も進んでおり今年 10 月からのサテライトオフィス活動開始のハード面での準備は万全である。

3. ソフト面の準備（運営体制）

サテライトオフィス活動の中心となり事務所の責任者となるオフィスダイレクターの人は日本人となる方向で進んでおり、会計/財務/税務等の外注先も近々決定する見込みで、ソフト面での準備も整いつつある。

日本から選出されている IASB 理事の日本でのオフィスもサテライトオフィス内に設けられ、アジア・オセアニア地区のアウトリーチ活動の中心となるアウトリーチコーディネーター、会計のテクニカルな面を担当するスタッフをアジア・オセアニア地区から公募すること

も検討されており、事務所開設時から常駐する予定のオフィスダイレクター及び秘書も加えて、早い時期に事務所の運営体制も十分に整うことが期待されている。

4. おわりに

昨年のサテライトオフィス東京設置の正式決定後、IFRS 財団、アジア・オセアニア地区基準設定主体、さらには日本の各団体からサテライトオフィスへの期待が数多く語られており、特に昨年 11 月に豪州メルボルンで開催された第 3 回 AOSSG（アジア・オセアニア会計基準設定主体グループ）総会では、今後 IFRS の開発、適用で影響力が高まるアジア・オセアニアの拠点となることへの各国からの期待、支持の声が多く述べられており、日本側の協力が大変重要となっている。

なお、2012 年 11 月 15 日に東京において IFRS 財団と FASB の共催でサテライトオフィス開所式の行事を行うことを予定している。